

令和8年3月1日に「岐阜県健康づくり優良活動表彰 表彰式」を行いました。
今回のミナモ通信では、表彰団体を紹介します。



岐阜県健康づくり優良活動表彰とは

岐阜県では、県民の健康寿命の延伸を目的とした健康づくり活動を広めるため、地域住民に対する健康づくり活動を積極的に行う団体等や、従業員の健康づくりに積極的に取り組む健康経営宣言企業を表彰しています。

表彰の種類

表彰の部門は以下のとおりで、各部門1団体を表彰しています。

- ①自治体部門 ②団体部門 ③企業部門
- ④健康経営優良企業(大規模)部門
- ⑤健康経営優良企業(中小規模)部門

受賞の特典

- 県知事名による表彰状の授与
- 表彰式や県HPをはじめとする各種媒体での紹介
- ロゴの使用などにより、企業の知名度やイメージの向上



岐阜県
健康づくり優良活動
自治体部門



岐阜県
健康づくり優良活動
企業部門



岐阜県
健康づくり優良活動
団体部門



岐阜県
健康づくり優良活動



健康経営優良企業

健康経営優良企業各部門の応募基準

基準日(例年6月末又は7月末)時点で岐阜県健康経営宣言企業として登録している企業を応募対象としています。

また、以下の(あ)~(か)を満たす((え)(お)についてはいずれかの要件を満たす)ことを応募基準としています。

(あ)	特定健診受診率95%以上 特定保健指導実施率50%以上
(い)	がん検診受診率60%以上 (胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん いずれかの項目)
(う)	ストレスチェックの実施
(え)	食生活の改善に向けた取組みの実施又は 運動機会の増進に向けた取組みの実施
(お)	禁煙支援又は受動喫煙対策
(か)	その他健康づくりの取組み、県内企業の 模範となる取組みを実施

岐阜県健康づくりフォーラム

令和8年3月1日(日)に岐阜県健康づくりフォーラムを開催し、フォーラムの中で岐阜県健康づくり優良活動表彰受賞者の表彰式を行いました。



受賞者の紹介

紹介動画はこちら

アクティブ
Gメン♪75



株式会社 ミットヨ
中津川工場



株式会社
アルプスサイン



団体部門 アクティブGメン♪75

関市では「生涯現役プロジェクト」の一環で、2021年度に健康寿命75歳以上を目指すシニアによるボランティアチーム「アクティブGメン♪75」を立ち上げました。

○農業・木育・保育・ICTの4分野の活動をサポート

農業Gメンは市内の畑での野菜づくりが主な活動です。

木育Gメンは、学校の授業等で行われる木を使った活動をサポートします。

保育Gメンは、保育施設が屋外活動をする際の見守り役として活躍しています。

ICT Gメンは、学校のプログラミング授業のアシスタント等を行っています。

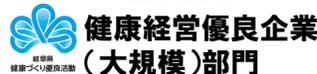
○ボランティア育成セミナーでしっかりと学んでから各現場へ

部門ごとにセミナーの機会を設け、支援内容や子どもたちとの関わり方、注意点などを学んでから活動を開始します。

○活動そのものが体を動かしたり、仲間を作ったりする良い機会に

Gメンの活動は、仲間づくりという点でも大きな意味を持ちます。

4分野のGメンの希望者が集うお楽しみもあり、活発なコミュニケーションが生まれています。



健康経営優良企業
(大規模)部門

株式会社 ミットヨ 中津川工場

1934年に創業し、「精密測定で社会に貢献する」を理念としながら、精密測定機器の総合メーカーとしての歩みを重ねてきた株式会社ミットヨ。

中津川工場では、2022年から健康経営に本格的に取り組むようになりました。

○健康診断や特定保健指導の受診を徹底

しながら健康アプリも有効活用

健診予約サービス「ハピルス健診」を活用し、健康診断を予約しやすい環境を整備しているほか、特定保健指導では可能な限り直接面談を受ける体制を整備しています。

また、健康アプリ「サントリープラス」を導入し、約70%の従業員が同アプリを活用しています。

○野菜を食べる習慣を体験会や食堂のメニューで推進

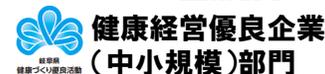
SATシステムの体験会や、ベジチェックによる野菜摂取量のチェックを実施。

また、毎月健康情報コラムも発信しています。

○従業員同士で楽しみながら運動に取り組める環境を提供



アプリを活用し、チームを組んで歩数を競い合う形式の「歩こうフェス」を実施。96人も従業員が参加しました。



健康経営優良企業
(中小規模)部門

株式会社 アルプスサイン

路面表示の設置工事を中心に、交通安全に関わるあらゆる業務を行う株式会社アルプスサイン。

「従業員ファースト」を掲げ、多角的なアプローチで健康経営を推進しています。

○規則の明文化・改定を進め心身の健康維持を支援

ストレスチェックの実施、「メモリアル休暇制度」の新設、定年の変更など、就業規則を見直すことで従業員の休暇や定年の不安を解消しました。

○業務量に応じた変形労働制を導入し家族時間と休息を確保

「1年変形労働時間制」を導入し、繁忙期・閑散期に応じた勤務時間を設定することで、仕事にメリハリが付いたほか、従業員のプライベート時間の充実が図られました。

○地域貢献・健康維持・交流促進につながる運動機会を創出



ハンドボールチーム「飛騨高山ブラックブルズ岐阜」の選手が働いている縁から、同チームのヘッドコーチを講師に迎えた運動教室を実施しました。

また、地域貢献の一環として実施している清掃活動も、複数のエリアを徒歩で移動することで、運動する機会となっています。

